# JASRA \_\_ 1 - 7 VOL .08/2023.11.10

# 「土サミット2023」開催レポー

去る 10月 26日、「土サミット 2023」の開催が無事に終わりました。ホテルニューオ ータニ博多を会場に、今年は「文明と土」というテーマで活発な議論が交わされました。

森戸義貴・国交省九州地方整備局長等から来賓挨拶をいただいた後、京都大学・勝見武教授 の「多様な土の多様なとらえ方」と題した基調講演から始まり、第 1 部として国交省・福岡 県・静岡県から建設発生土の有効利用について講演が行われました。特に、本年(2023年) 5月26日から施行された盛土規制法及び資源有効利用促進法省令改正によるストックヤー ド運営事業者登録制度に関する対応策が話され、会場からは「官民一体となって取組むべき課 題がよく分かった」との声も上がりました。

第 2 部は、昨年も好評だった奥村組による工事現場中継 が行われ、今回はリニア中央新幹線・神奈川県駅(仮称)。 現場の発生土をストックして見学用の展望台として盛土利 用している例が紹介されました。

第3部はメインテーマの「文明と土」。最初に熊本大学・ 田中尚人准教授から"不易流行"を引用しながら「土」が生 み出してきた普遍のものと変わるべきもの、文明と文化の違 いをマクロな視点で解説されました。

次に、田中准教授がコーディネータとなって九州在学の 4 人の学生とパネルディスカッションを開催。さらに、録画で 「土の愛し方」という講演が京都大学大学院の学生からなさ れ、工学的理論を踏まえながら土の魅力が語られました。

第4部の「ローカル土」では、宮崎大学・福林良典准教授 から東アフリカの膨張性粘土の地盤改良の話の後、横浜国立 大学・松永昭吾客員教授が司会となって、産官学で地域の災 害と土の特性を議論。「これからは産官学の垣根を外して新 しい価値を生み出しましょう」と、大いに盛り上がりました。

そのほか、「こども土サミット」や「PRブース」など、語 りつくせない盛沢山な内容で幕を閉じました。次回「土サミ ット 2025」は大阪での開催予定です!



京都大学・勝見武教授の基調講演「多様な土 の多様なとらえ方」で幕を開けました



4人の大学生によるパネルディスカッショ ン。「牡蠣殼」を使った地盤改良の研究など が話題にされました



録画講演「土の愛し方」。「土は含水比を 落とすと強度は増すが、逆に自立しなくな る所が面白い」と語りました



会場には過去最高300人以上の参加があ り、50人以上のWEB参加もありました



協賛企業の「PRブース」も活気があり、 「こども土サミット」のグッズ販売も行わ れました



会員紹介

## 株式会社 オクノコトー

大阪府高槻市大塚町 1-14-13 TEL 072-675-0388

#### 事業概要

当社は建設現場で発生する土質性状の 異なる2種類あるいは3種類の土砂を活 用し、物理的混合処理(粒度改善)を行う 万能土質改良機システムを開発し、利用 用途に応じた品質を満足する盛土材づく りに取り組んでいます。

このシステムは、盛土材としてそのまま使用できない多様な建設発生土、また震災の津波堆積土砂など幅広い土質に適用し、河川堤防・道路盛土に適合した盛土材への再生を行い、「現地改質技術」として、1997年から現在まで約1000万m3の有効利用を行っています。



### 万能土質改良機システムによる「現地改質技術」

#### (1)配合設計から施工までをフォローアップ

事前調査から質と量のバランスを総合的に計画 し、混合処理土の品質管理まで施工します。

# ②マシンコントロールによる生産性向上と省人化計量同時混合:

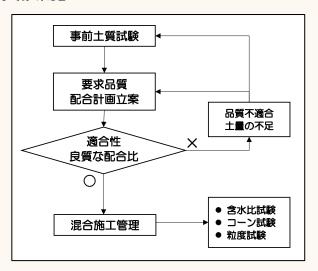
混合比率は計量重量を検知し、各土砂ホッパの土量が制御され、比率は自動管理されます。

#### 4軸直列混合方式:

本体の4つの撹拌軸はせん断・移動・拡散混合効果を向上させ、また、生産低下の影響を自動復帰させる機能などを装備し、連続的に均質で安定した盛土材を製造します。

#### ③適用範囲・対応土質

最大粒径 100 mm以下の第 1 種〜第 4 種建設発生 土、粘性土、砂質土、礫質土、火山灰質粘性土など の低品質土







### 施工事例

#### 災害復旧 鬼怒川緊急対策プロジェクト

工事概要:平成27年9月関東・東北豪雨(台風18号)により決壊した。堤防本復旧に

は掘削土を活用し盛土材を確保した。

工事場所:茨城県常総市三坂町地先施工時期:平成28年2月~5月

混合土量:41,000m3(3種混合)



#### 遊水地整備事業(円山川)

工事概要:遊水地内で発生する掘削土の土質性状を評価し、周囲堤・囲ぎょう堤の堤防盛土

材に有効活用する。

工事場所:兵庫県豊岡市中郷地先

(円山川右岸 中郷遊水地上池内)

施工時期:令和元年~事業中

混合土量:約340,000m3(2種混合)





#### これまでに活用された事業(地域別)

2166年16年16年16年16年16年16年16年16年16年16年16年16年		
鳴瀬川中流部緊急特定区間事業	近畿地方 約390万m3	淀川河川堤防強化対策
仙台湾南部海岸堤防復旧プロジェクト		大和川高規格堤防事業
仙台市東部復興道路整備事業		円山川激甚災害対策特別緊急事業
一級河川五十嵐川災害復旧助成事業		豊岡中郷遊水地事業
入間川•越辺川等緊急対策事業		由良川中流部堤防整備事業
荒川上流さいたま築堤事業		九頭竜川激甚対策特別緊急事業
荒川下流堤防強化対策		日野川堤防強化対策
首都圈氾濫区域堤防強化対策		木津川上野遊水地事業
利根川上流下流堤防強化対策	九州地方 約70万m2	遠賀川堤防強化対策事業
鬼怒川緊急対策プロジェクト	מווונלט <i>ז</i> עה בלטגויילט ל	筑後川中流部堤防強化対策事業
1 1 7 7	県瀬川中流部緊急特定区間事業 山台湾南部海岸堤防復旧プロジェクト 山台市東部復興道路整備事業 一級河川五十嵐川災害復旧助成事業 入間川・越辺川等緊急対策事業 荒川上流さいたま築堤事業 荒川下流堤防強化対策 首都圏氾濫区域堤防強化対策	鳴瀬川中流部緊急特定区間事業  山台湾南部海岸堤防復旧プロジェクト  山台市東部復興道路整備事業  一級河川五十嵐川災害復旧助成事業  入間川・越辺川等緊急対策事業  荒川上流さいたま築堤事業  荒川下流堤防強化対策  首都圏氾濫区域堤防強化対策  利根川上流下流堤防強化対策



### 第8回技術研修会 報告

## 「長崎県における建設発生土リサイクルの取組」

令和5年9月12日、第8回オンライン技術研修会「長崎県における建設発生土リサイクルの取組」が開催された。講師は、(株)張本創研 企画営業課長の大久保一誠さまにお願いした。

創業 61 年の歴史を持つ張本創研は、採石からはじめ、コンクリートやアスファルトなど産業廃棄物の処分を行ってきた。その中で、近年、建設発生土リサイクルの役割が大きくなっているという。

長崎県南エリアの特徴として、平坦地が乏しく山岳丘陵が起伏し、入江が曲折しているなど、地形が急峻である。そこから排出される建設発生土は良質なものが多いのだが、有効利用されることが少なく、埋立てされているのが現状。改良土は「再生土砂」という品目で長崎県リサイクル製品として認定されており、最大粒径 75mm 以下・コーン指数 800kN/m2 という品質基準が設けられている。

「泥土」と呼ばれる高粘土・高含水の建設発生土も積極的に受け入れて再生している。「その際に、 改良材に含まれる六価クロムなどの環境基準の問題も生じている」という実情を述べた。

建設発生土の年間受け入れ量は、張本創研だけで年間4万m3前後。再生土砂の納入実績として、補強土壁埋戻し、橋台部盛土、上下水道埋戻し、造成盛土などがある。

令和元年になって、佐世保地区、長崎・諫早地区、長崎・西海地区、 大村地区、県南地区それぞれに位置するプラント業者が集って「長崎県建設発生土リサイクル事業協同組合」を設立。現在、正会員 10 社・賛助会員 7 社となり、土のリサイクルを推進するためのルールを作って循環型社会の形成を目指していると締めくくった。



(株) 張本創研 企画営業課長 大久保一誠 氏

# お 知 ら せ

#### 【1】 行事予定

- 1 2月6 7日(水・木): 「建設技術フェア 2023in 中部」ブース出展/会場: ポートメッセなごや(名古屋/金城ふ頭)
- ・1月18日(木):第3回建設発生土リサイクル講習会 ~建設発生土リサイクルのための人材育成~/会場:航空会館(東京/新橋)
- 【2】11月10日現在の会員数
  - 正会員 61 社 賛助会員 31 社 特別会員 2 社 合計 94 社

#### 【3】投稿記事の募集

•「JASRA ニュース」では、会員の皆様からの投稿記事を募集しています。ご希望の方は、下記事務局までお問合せください。



### 一般社団法人 全国建設発生土リサイクル協会

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町 22

電話:03-3526-2129 FAX:03-3526-2139

E-mail: info@jasra.or.jp URL: https://jasra.or.jp/

----JASRA ニュース VOL. 08 令和 5 年 11 月 10 日発行--